

阿久津町政スタート



城里町長 阿久津藤男

あくつ・ふじお (略歴)

昭和17年9月27日生。(66歳)
昭和40年2月東洋大学法学部卒業。昭和62年から平成7年まで七会村収入役。平成7年から平成11年まで七会村助役。平成11年4月から平成17年1月まで七会村長。

PROFILE

桜の花も咲き競い、春爛漫の好季節となりました。町民の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、任期満了に伴う城里町長選挙にあたり、皆様の温かいご支援のもと町長として町政を負託され、その責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、今回私は多くの方々から公平・的確な行政執行を望むという声を拝聴し、町づくりの基本を「住民の声をいかに行政に反映させるか」という

点において、町政を進めてまいりたいと考えております。

特に、就任にあたりましては、町の活性化と住民福祉の向上による明るく元気な町づくりの視点から、重点施策として出生・子育て支援の充実、生徒の学力向上と国際化への対応、高齢者等の健康と健康増進施設の利活用の促進、国道123号バイパスや町道の整備促進、雇用の確保対策、農産物や特産物のブランド化、町民と町長の対話促進などを掲げました。どれひとつをとっても、行政と住民が協力し共に進めていかなければならないものであり、その実現に邁進してまいりたいと考えております。

世界同時不況の到来といわれているこの時期ではありますが、いつの時代においても活力と元気がなければ住民の福祉増進を叶えることはできないと考えておりますし、私に課せられた活力に満ちた元気な町づくりは行政執行においても住民が渴望していることであると感じているところであります。

今後の行政執行にあたりましては、さまざまな課題を町民と共有し、協働の精神を大切にしながら、誠心誠意「元気な町づくり」に取り組んで参る所存であります。

町議会をはじめ町民の皆様のご理解、ご協力を心からお願い申しあげまして、町長就任のごあいさつといたします。



町長就任式で町職員を前にあいさつ



町長室での町長章の交付